



## プロジェクターを活用しよう!

最近ではプロジェクターの性能も向上し、従来の製品のように室内を暗くしなくても、きれいな映像を投影することができるようになりました。高性能にはなりませんが、価格は手頃な感じに下がってきました。我が社にも1台…、あるいはそろそろ買い換えを…、と考えていらっしゃる会社様も多いことと思います。プロジェクターを使用することで、会議やプレゼンテーションに幅を持たせることができることでしょう。

一口にプロジェクターと言っても、様々な機種があります。使用する部屋の広さなどの環境に応じて、また、用途に合わせて選択しましょう。

機種選びのポイントは次の通りです。

- (1) 明るさ (輝度)
- (2) 解像度
- (3) 重さ・大きさ
- (4) その他の機能



### (1) 明るさ (輝度)

明るさ (輝度) はANSIルーメン (記号: lm) という単位で表記され、数値が大きいほど明るくなります。部屋の大きさと必要な明るさについては表1をご覧ください。やや余裕のある輝度の製品を選ぶとよいでしょう。

### (2) 解像度

解像度とは、映像をどれだけ細かく表現できるかを表した数値です。会社でプロジェクターを使用する際、パソコンの画面を投影するケースが多いことと思います。現在のパソコンの画面の解像度は1024×768が主流です。最近ではそれ以上の解像度のパソコンも増えてきました。鮮明な画像を投影す

るためには、プロジェクターの解像度もチェックしておきましょう。

### (3) 重さ・大きさ

数年前までは、プロジェクターは大きくて、重いものでした。最近では以前に比べてコンパクトで比較的軽い機種も登場してきています。機種選定の際、重さはあまり気にしないと思いますが、設置、片付けする際、軽量の機種だと楽に作業することができます。

### (4) その他の機能

最近のプロジェクターにはいろいろな機能が付加されています。無線LANを搭載し、ケーブルでパソコンと接続しなくても投影することができたり、パソコンで作成したファイル (PowerPoint 等) が保存されたUSBメモリーをプロジェクター本体に直接差し込んで投影することができる機種などがあります。

弊社でも、最近、EPSONのEMP-1815を導入し、社員が活用しております。実際に使用して感じたのは、自社に必要な十分と感じたスペックよりもワンランク上の機種を購入して正解だったということです。EMP-1815は、無線LANでの接続もとても重宝しています。

弊社にお越しいただいた際には、その活用っぷりを、ぜひご覧ください!

<表1>

部屋の大きさが必要な明るさ	
1500ルーメン ▶	10人程度までの小会議室向け
2000ルーメン ▶	10~20人程度の中会議室や教室向け
3000ルーメン ▶	20~50人程度の大会議室や小ホール向け

**編集後記** 今回、お客様にエーアイティ研究所の業務内容や取り扱い商品をもっと知っていただきたいという思いから、このAIT通信を発行することになりました。皆様にIT関連の最新情報や、ソフトウェアの便利な使い方、OA機器の活用法などを広めていきたいと思っております。今後とも、エーアイティ研究所とAIT通信をご愛顧いただきますよう、よろしくお祈りいたします。ご意見、ご感想をお待ちしております。(本田)